

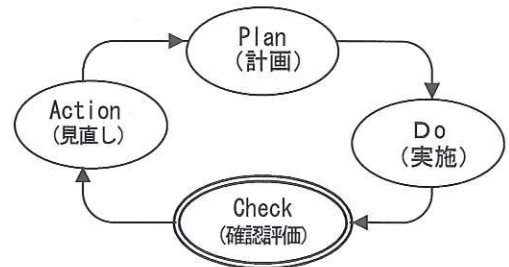
全国福祉用具専門相談員協会(会長 山下一平、以下「本会」)では、昨年、福祉用具の計画的なサービス提供に不可欠なツールとして、「福祉用具個別援助計画書・標準様式」を開発しました。そして、この度、同計画書において選定した福祉用具の利用後の状況確認、変化を見るためのツールとして、新たに「モニタリングシート(試行版)」を開発しましたので、ここに発表致します。

「モニタリングシート(試行版)」を開発、計画的で継続的なサービス提供に向けて

介護保険の各サービスの指定基準には、訪問介護計画のように個別のサービス計画が法定化され、一定のサービスの質を担保しています。しかし、福祉用具はこの規定がないことから、本会では、関係者の自主的な取り組みを期待して、昨年「福祉用具個別援助計画書・標準様式」を発表。現在、多くの関係者が同様式を使用していますが、この度、これに加えて「モニタリングシート」を開発しました。これは福祉用具専門相談員がご利用者宅を訪問した際に、福祉用具の利用状況の確認、変化を記録するツールです。PDCA サイクルからみると、Plan (計画) は福祉用具個別援助計画書の作成であり、サービス提供の Do (実施) があって、「モニタリングシート」は Check (確認・評価) に活用されます。モニタリングの結果、必要に応じて Action (計画の見直し) にもつながるものです。今回の開発が、福祉用具供給におけるPDCAサイクルの普及を促し、介護給付の基本原則である計画的、継続的なサービスの提供が一層進むことを期待するものです。

「モニタリングシート」開発の目的

1. 福祉用具利用後の状況の確認、変化を見る
2. 福祉用具個別援助計画書に記載した利用目標の達成、検証
3. 利用者の新たなニーズの発見
4. 「介護サービス情報の公表」などの確認の際の記録として



バリアフリー2010 で普及・啓発シンポジウム、事例検討会で作成方法も紹介

本会では4月15日から3日間、インテックス大阪で開催されるバリアフリー2010 会場において、今回の「モニタリングシート」の発表を兼ねて、普及・啓発イベントを実施します。15日にはプロジェクト責任者の白澤政和先生をはじめ開発関係者に、ゲストスピーカーを交えてシンポジウムを開催。同時に15～17日の各日、福祉用具の援助技術では著名な講師を招いて、モニタリングシートを使用した公開事例検討を行います。参加者募集にぜひご協力下さい。

【添付資料】

- 訪問確認書(モニタリングシート)
- バリアフリー2010「シンポジウム&バリアフリー・ワークショップ」参加者募集

【この件の問合せ先】

全国福祉用具専門相談員協会 事務局担当：小野崎、柳田
〒108-0073 東京都港区高輪 3-19-20 高輪OSビル 9F
TEL：03-3443-0011 FAX：03-3443-8800
アドレス：info@zfssk.com HP：<http://www.zfssk.com>



ふくせん

ふくせん「モニタリングシート(訪問確認書)」(試行版)のご案内

ふくせんモニタリングシートは、先に開発した「福祉用具個別援助計画書(標準様式)」と対になるものです。福祉用具の利用の中で計画から実施、確認・評価、再検討というPDCAサイクルを回すためのPが「福祉用具個別援助計画書(ふくせん版)」であり、Cがふくせんモニタリングシートになると考え、試行版として開発いたしました。今後、現場の皆様の声やご意見をいただき、さらによりよいものにしていく所存です。福祉用具関係者の皆様には、ぜひこのシートをつかって、利用後のモニタリング・訪問確認をしていただければ幸いです。また保険者、ケアマネジャー、介護関係者の皆様には質の高い福祉用具サービス提供のために福祉用具個別援助計画書とモニタリングシートの普及に今後ともご理解を賜りますようお願い致します。

ふくせんモニタリングシート開発の目的

1. 福祉用具利用後の状況の確認、変化を見る
2. 福祉用具個別援助計画書に記載した利用目標の達成について、検証
3. 利用者の新たなニーズの発見
4. ケアマネジャー、他サービス事業者との情報共有化
5. 「介護サービス情報の公表」などの確認の際の記録として

